

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	遊歩道・自転車道ネットワーク推進事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・観光客	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
市民や平塚を訪れる人が、遊歩道や自転車道の利用により、観光等の余暇活動を楽しんでいます。		市民の余暇活動等のニーズに対応するため、観光マップの活用やモニターツアーの実施等により、遊歩道・自転車道の利用を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	モニターツアーの開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	2	3	3	4	
	実績	2	3	3		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ツアー参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	30	40	50	60	
	実績	127	81	118		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>体験型観光として、外国人を対象として、海岸散策と和菓子作りを取り入れた体験ハイキングモニターツアーを実施しました。また、健康ウォーキングとコラボレーションし、花菜ガーデンやあさつゆ広場を訪れるツアー、大山みちを歩くツアーなどを実施しました。さらに、観光マップを改訂しました。</p>						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民の余暇活動や健康づくりを増進するため、安全で快適に市内を巡る遊歩道・自転車道の利用を促進することは必要です。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目されており、遊歩道・自転車道の利用を促進することは有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目され、やすらぎ回廊を利用することによって市民に市内の名所等を知ってもらうことは妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	的確に市民の身近な観光ニーズを把握し、効率的にそのニーズに応えていく検討が必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 余暇活動を通じた自然とのふれあいや健康の増進が注目される中、やすらぎ回廊や七福神巡り等のPRと活用は重要と考えており、今後も、モニターハイキングや自転車を活用したモニターサイクリング等を実施し、市民ニーズを把握するとともに、市民等への浸透を図る必要があります。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		観光マップの活用等による利用の促進・モニターツアーの実施	観光マップの活用等による利用の促進・モニターツアーの実施	観光マップの活用等による利用の促進・モニターツアーの実施	観光マップの活用等による利用の促進・モニターツアーの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,432	2,405	2,385	2,344
フルコスト (A+B)		2,432	2,405	2,385	2,344

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 やすらぎ回廊のPRとともに、ハイキングツアーや自転車を利用した行事等を企画実施していくうえで、健康増進ウォーキングや、文化財保護団体並びにスポーツ団体との共催の企画を実施し、効果的に市民参加を促進します。また、観光協会と連携し、さらなる利用推進を図っていきます。
課長コメント モニターツアー等の企画を実施していくことで、やすらぎ回廊を中心とした遊歩道・自転車道の利用を促進します。